

二〇一二年春闘交流会

甲南大学名誉教授

労使関係論

熊沢 誠さん

正社員の過重労働と

非正規社員のワーキングプア化



三月四日（金）午後六時十五分

静岡労政会館・五階展示室

資料代 五百円



地域の労働者が交流 連帯する場として十年以下

前に始めた静岡地域春闘交流会は、昨年の学習会

で、年越し派遣村村長の湯浅誠さん、「昨年は雨宮

処凛さん（歪きさせろ）著者」を招いて、現在日

本の貧困問題を学びました。

しかし日本の働く現場では、その反対側の「働き

すぎ」正社員も不幸な生活を続けています。

今年は熊沢さんとともに、労働組合の問題として

真正面から原因を究明し、解決を探ります。

実行委員会事務局

静岡県職員組合静岡支部 静岡市駿河区有明町 2-20

☎054-286-9291

fax054-286-9188

ウラも読んでください⇒



熊沢さんは大阪を中心にした研究会「職場の人権」の代表です。職場の人権は昨年五月、東京の明治大学で「ブラック会社」で働く若者たち 周辺の正社員の明日」という研究会を開きました。以下は、オープニングを務めた熊沢さんの提起の「部です 見出しは実行委員会」。

職場の人権」の問題意識

正社員の現状はどうか
いま労働問題への関心は、総じてワーキングプアというところ集中しています。ある意味ではそれは当然です。非正規雇用が増して、その底辺部分は年収二〇〇万円にも満たない、生活できな

いような人たちが累積しているからです。住宅問題も含めてその生活が文字どおり危ういという惨状については、すでに報道やルポ、諸団体の報告などからご存じでしょう。

とくに東京ではいくつかの集会所も開かれていて、ワーキングプアに関する情報の共有、研究の蓄積もかなりあります。そこから噴出する運動も 一定の成果を果たしていると思います。

正社員の悲惨な現状

では、恵まれているはずの正社員はどうかと問えば、そのステイタスもまた、かつてのような特権を享受しうる立場から大きく崩落しています。端的に言ってひどい状態になっています。彼ら、彼女らはなによりも働かすぎ 働かせすぎであり、労働の密度も高まっています。そればかりかきびしい選別のなか雇用不安に苛まれ、多くの従業員が安定した将来を見通せない状況にあります。またこの界限では、さまざまのパワーハ

ラスメントが頻発しています。

ブラック会社の登場

とくに中小企業やベンチャービジネスの「ブラック会社」では、このようなしんどい思いをしている正社員が激増しているのです。昇給や昇格や終身雇用が保障されない正社員はまさに「周辺の正社員」と言ってもいいでしょう。そんな人たちが続出しています。この点は、後に今野さんからくわしい報告があると思いますが、今日のパネルディスカッションのテーマは、若者を中心としたこのような周辺の正社員の多面的な考察なのです。

正社員化は解決ではない

ここに焦点を据える理由は、まじめに二つあります。一つは、ほかならぬ正社員のこのような状況を不問に付したまま、非正社員の正社員化を望ましい移行と考える、あるいはそれを政策目標とするということに対する疑問が、私たちにはあるからです。研

究会「職場の人権」は、こうした問題意識のもとに、正社員の状況も聖域とすることなく批判的に検討されなければならないと考えています。

地続きの問題としてとらえ

もう一つの理由は、このように考察されるべき正社員の状況と、非正規労働者の底辺部分のワーキングプア化とは、無関係な二つの問題ではなく、前者が後者を促進し、後者が前者を促進するという、まさに相互補強関係、いわば地続きの関係にあるからにほかなりません。

最近、ブラック会社に働いているのだが、僕はもう限界かもしれない」という、ネット上の書き込みにはじまるマンガや映画が若者の間で大評判になりました。これは小さな「企業を舞台に以上のような状況を描く作品であり、今日のパネルがここからタイトルを借用していることはいまでもありません。